



2018年2月13日

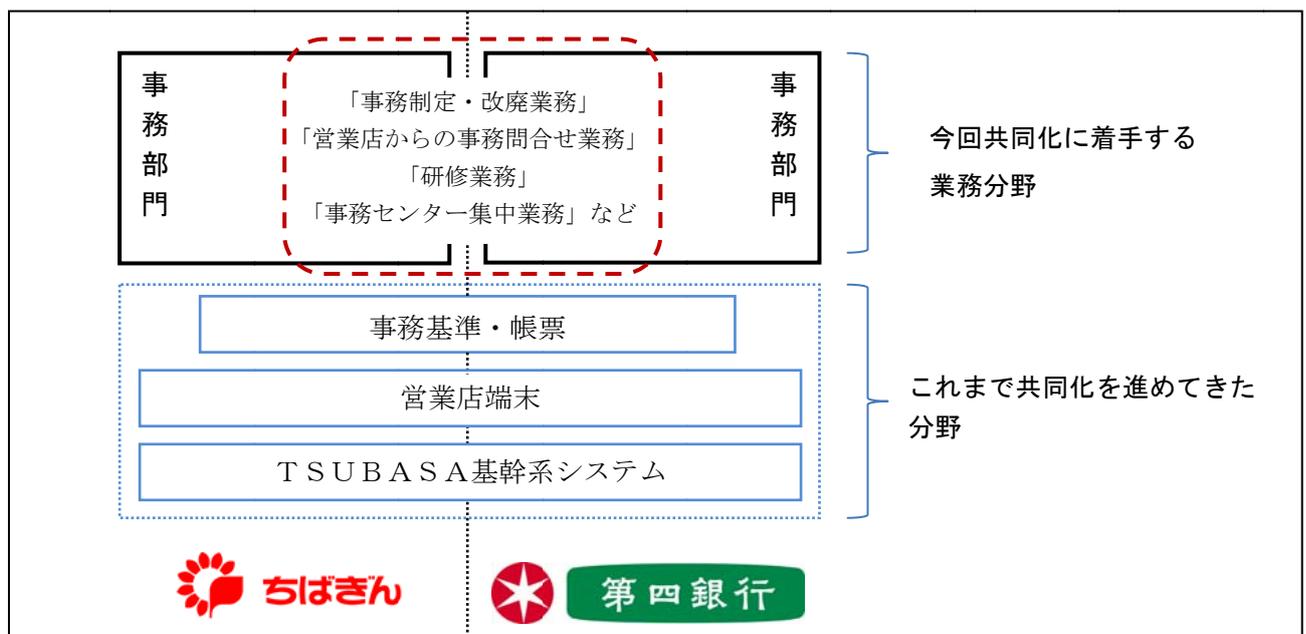
第四銀行との事務部門の共同化に向けた合意について
～「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」連携施策～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）と第四銀行（頭取 並木 富士雄）は、2018年2月13日（火）、両行の事務部門の業務について共同化していくことで合意しました。

両行は「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」*のもと、昨年1月までに営業店端末や基幹系システムの共同化を完了したことで事務の共通化が図られたことから、この度、両行の事務部門のうち、まず「事務制定・改廃業務」「営業店からの事務問合せ業務」「研修業務」「事務センター集中業務」について共同化を進めていくこととしたものです。

この度の事務部門の共同化により、両行は「人員・コスト削減」「ノウハウ集約・承継」「プロフェッショナル人材の維持・育成」の実現を目指してまいります。

【両行のシステム面・業務面の共同化の流れ】



*フィンテックをはじめ先進的なIT技術を調査・研究するために発足した枠組みで、現在、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行の6行が加盟しています。